

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

## 事業名 一般向け電話相談推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内3237)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 521 千円 (前年度予算額： 766 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	766	0	0	0	0	0	0	0	766
要求額	521	0	0	0	0	0	0	0	521
決定額	521	0	0	0	0	0	0	0	521

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・一般向け電話相談事業とは、住民が急な病気やけがの際、救急車を呼んだ方がいいのか、今すぐ病院に行った方がいいのかなどについて、医師等からアドバイスを受けることができる専用電話窓口（共通短縮ダイヤル#7119）を設置するもの。
- ・事業実施により、住民の安心・安全の担保は勿論、救急車の適正利用（軽症者の割合の減少、不急の救急出動の抑制など）の効果が期待できる。
- ・県内では、岐阜市消防本部管轄地域で実施されているのみであり、県は一般向け電話相談事業の普及を推進する必要がある。

### (2) 事業内容

- ・県内全域での令和5年度秋からの導入に向けた関係者（消防本部、市町村保健衛生部局、地域医師会等）間の協議会や、事業導入後の効果検証を行う協議会を開催する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県が直接実施する

### (4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	211	協議会出席者旅費
報償費	252	協議会参加者報償費
その他	58	消耗品費、会場借り上げ料
合計	521	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）

第3部－第2章－第6節救急医療対策－7 今後の施策

救急車の適正利用を推進し、救急性の低い出動を抑制するため、事前に医師等電話相談を受け付ける救急安心センター事業（#7119）や一般向け救急電話相談事業の導入を検討します。

### (2) 国・他県の状況

- ・13都府県及び6地域で実施（令和4年8月1日現在）

### (3) 後年度の財政負担

- ・事業内容を検証し、必要に応じ見直し等の検討を行う。

### (4) 事業主体及びその妥当性

・保険医療計画上に導入を検討することが明記されており、県が事業主体であることは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 一般向け電話相談事業（#7119）の事業が県全体で導入できるような体制を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、一般向け電話相談事業（#7119）の普及の推進のための事業であり、目標を設定することは困難である。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	<p>一般向け電話相談事業(#7119)は、消防車の適正利用を促すだけでなく、適切な医療の提供にも資するものであり、消防庁が開催した救急医療のあり方に関する検討会においても、県が関与すべきと提言されており、導入推進事業の必要性は高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各関係機関で導入に向けて、具体的な導入内容や時期等を議論していく必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 関係機関と協議を行いながら、導入に向けて議論を進めていく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】